



鎌倉市自然環境調査 — 概要版 —



平成15年3月

鎌倉市緑政都市部みどり課

はじめに

この概要版は、「鎌倉市緑の基本計画」において保全対象として位置づけられた、22地区の緑地に対して行った自然環境調査の結果をとりまとめたものです。この自然環境調査を行うに当たり、多くの方々のご協力をいただきました。

まず、今回の調査対象緑地は、そのほとんどが私有地です。現地調査に当たり、各緑地を所有していらっしゃる土地所有者の方々のご協力を得て、緑地に立ち入っての調査を行うことができました。

また、この自然環境調査では、生態学的な新しい手法や高い精度が求められていたことから、鎌倉市の自然環境について深い知識と調査経験を有する専門家や市民の協力を得て進めるため、市の緑化推進専門委員であるアドバイザー2名と、アドバイザーが推薦した市民2名の計4名からなる協議会が設置されました。協議会からは調査を進めていく間、様々なご指導、ご助言をいただきました。

さらに、より多くの方から情報等をいただくため、協議会が中心となって鎌倉市の自然環境に詳しい専門家と市民を選び、その方々に向けたヒアリング調査を行いました。いただいた貴重な情報等は、市民ヒアリング調査結果として報告書の中にまとめました。

このように多くの方々のご協力を得て、これまでよくわからなかった22地区の緑地に関する様々な自然環境情報をとりまとめることができました。22地区の緑地には多様な環境が存在することから、いろいろな生物が確認され、次の世代のためにも保全していかなければならないという思いを強くしました。皆さんにこの調査内容をご紹介しますことで、調査した緑地の自然環境を理解していただき、共に守り育てていきたいと思います。

ご協力いただきました多くの方々には、心からお礼を申し上げます。

この概要版を読んでくださるすべての皆さんへ、大切なお願いがあります。

22地区の緑地については、保全に向けて動き始めたばかりです。緑地の保全を進めるためには、土地所有者の方々のご協力がなければなりません。

22地区の緑地は、そのほとんどが私有地です。その土地に無断で入ることは、他人の家にだまって入ることと同じです。そのようなことは、絶対にしないでください。

鎌倉市緑政都市部みどり課

目 次

1	鎌倉市自然環境調査の趣旨	
1.1	調査の目的	1
1.2	調査の特徴	1
1.3	調査対象地区	1
2	鎌倉市の自然環境の概要	
2.1	鎌倉市の緑の特徴	2
2.2	自然環境をとりまく課題	3
3	鎌倉市における緑地保全施策	
3.1	鎌倉市の緑地保全施策	5
3.2	調査対象緑地22地区の位置図	7
4	自然環境調査結果	
4.1	水系調査結果	9
4.2	植物調査結果	11
4.3	動物調査結果	15
5	自然環境特性	
5.1	自然環境特性の把握	19
6	調査対象緑地の特性	
6.1	調査対象緑地22地区	26
	関谷公園 / 城廻	27
	玉縄城址公園 / 植木	29
	龍宝寺	31
	岡本 / 観音山	33
	岩瀬	35
	貞宗寺	37
	天神山	39
	六国見山森林公園	41
	上町屋 / 昌清院	43
	鎌倉中央公園〔台峯〕	45
	等覚寺 / 寺分一丁目	49
	手広	51
	青蓮寺 / 手広・笛田	53
	常盤山	55
	広町	57
	小動岬	61